入院診療計画書

人工骨頭置換術（右・左）を受けられる　（　　）様へ

病名　　年齢　　生年月日：

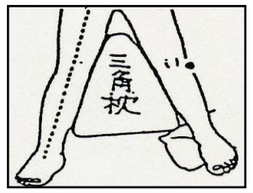
主治医　　受持看護師　　病棟

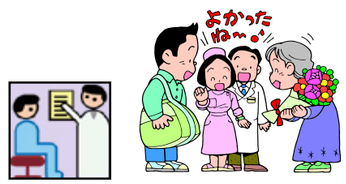
手術日時　平成　年　月　日　AM ・ PM　時　分

薬　剤　師
リハビリ担当
担当管理栄養士

２ 部 印 刷
1部：患者ファイル
1部：患者様用

病日	入院日～手術前日	手術当日（術前）	手術当日（術後）	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後7日目	術後14日目	術後2～3週目で転院
日付	／　（　）	／　（　）		／　（　）	／　（　）	／　（　）	／　（　）	／　（　）	／　（　）	／　（　）	／　（　）
目標	安心して手術を受けることができる 手術の方法・目的が理解できる	心身ともに安定した状態で手術を受けること	痛い時や調子の悪い時などに訴えることができる 良肢位が理解できる	痛い時や調子の悪い時などに訴えることができる 車椅子に乗ることができる				退院後の生活について理解することができる	歩行器歩で歩けるようになる		
食事	手術前日の午後9時までは、常食です 必要時特別食となります （水分は麻酔科医から説明があります）	食べることができません	飲んだり食べたりできません	水分は自由です おなかの動きがよければ、流動食より開始し、徐々にもとの食事に戻します							
安静度	ベッド上安静です。痛みに応じてベッドを起こしてかまいません。		ベッドの上で安静にします 寝返りはできます	ベッドを90度上げることができます	ベッドの端へ足を垂らして座ることができます 血抜きの管が抜ければ、車椅子に乗ることができます （手術した足には、痛みのない範囲で体重をかけてもかまいません）						
清潔	体を拭きます	手術の前に体を拭いて手術着に着替えます。 義歯・指輪・ヘアピンははずして下さい		毎日体を拭きます						抜糸後、きずの状態がよければ、シャワー浴をすることができます（1度目のシャワー浴は必ず看護師が介助・説明させていただきます）	
排泄			尿の管が入っています ベッドの上での排泄となります		車椅子に乗れるようになれば、尿の管を抜きます （必要時ポータブルトイレ・尿器を使用します）			自由にトイレに行くことができます			
検査	医師の指示により検査があります		血液検査と胸部・手術部のX線撮影をします	血液検査があります				血液検査とX線撮影があります	血液検査とX線撮影があります		
治療	手術前日の夜には胃薬を内服していただく場合があります 持参薬は特に指示がなければ続けて飲んでください ※抗凝固剤（ﾊﾟﾅﾙｼﾞﾝ・ﾌﾞﾗｻﾞｷｻ・ｲｸﾞｻﾞﾚﾙﾄ・ﾊﾞｲｱｽﾋﾟﾘﾝ・ﾜｰﾌｧﾘﾝ・ﾌﾟﾗﾋﾞｯｸｽ・ﾌﾟﾚﾀｰﾙなど）を内服している方は中止してください	点滴をします 胃薬を内服していただくことがあります 抗生剤の点滴をします	点滴をします 抗生剤の点滴をします 酸素吸入をします → 酸素の状態が落ち着いていれば酸素吸入は終了します きずの消毒があります きずに血抜きの管が入ります → 排液量が少なくなれば抜きます（術後2日目頃） 飲水・食事が開始となれば飲み薬を再開します（抗凝固剤の内服は医師の指示が出れば再開します）							手術後12日目頃に抜糸となります	
リハビリ	理学療法士から挨拶・説明があります		ベッドの上でのリハビリが始まります 機械で股関節を運動させるリハビリをします （少しずつ曲げる角度を上げていきます）		病棟で車椅子への移乗訓練や平行棒内の歩行訓練を行います			リハビリ室や平行棒内で歩行訓練を行います （歩行器やT字杖を使った歩行訓練も徐々に始めて行きます）			
処置	毛剃り・爪切りをします ※肺血栓・塞栓予防のため弾性ストッキングをはきます	消毒薬で足全体を消毒して足をシーツで包みます								主治医の許可があれば、弾性ストッキングを除去してもかまいません	
説明 指導	麻酔科医が麻酔について説明します お薬などのアレルギー歴がある場合はお知らせください 主治医・看護師が手術について説明します（看護師はﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄを使用し説明します） 薬剤師がお薬について説明します 同意書は手術当日までに詰所にお渡しください	手術中、家族の方は病室またはデイルームでお待ち下さい	痛みがある時は、遠慮なく看護師に申し出てください 必要時、痛み止めを使います 手術後はベッドの上で三角枕をはさんで足を開いた状態を保ちます 手術後、主治医から手術説明があります		※手術前にお渡しするパンフレットを参考に、してはいけない姿勢を十分理解してリハビリをがんばりましょう。わからないことがあれば主治医、看護師、理学療法士までご相談ください				術後7日目に転院の検討をします		薬剤師がお薬について説明します 感染徴候がなくX線撮影で異常がなければ退院または転院となります





※上記内容は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることもありますのでご了承ください

※ご質問等ございましたら気軽にスタッフへ声を掛けてください。

※　特別な栄養管理の必要性　□ 有　□ 無

私は、上記診療行為について、主治医から十分な説明を受けました。

患者　又は　親権者・親族等サイン　　（続柄　　）

◇総合的な機能評価◇　□ 評価対象外

・日常生活動作	□ 問題なし	□ 要経過観察
・認知機能	□ 問題なし	□ 要経過観察
・意欲	□ 問題なし	□ 要経過観察